



1 陸平貝塚とは

陸平貝塚は全国でも有数の規模を誇る縄文時代の貝塚遺跡です。縄文時代早期から後期まで(約7000～3500年前)長期にわたって貝塚が残されました。陸平貝塚は、日本人の手によって最初の学術発掘調査が実施された遺跡としても有名です。また、陸平貝塚は平成10年に国の史跡に指定されました。

2 感動・自然体験

(1) 縦割り班陸平探検(全学年)



【竪穴住居の前で】



【木の中を流れる水の音を聴こう】



【縦割り班で史跡で遊ぶ】

毎年4月に陸平探検を縦割り班で行っています。目的は異学年の交流と陸平の豊かな自然を知ることです。「ネイチャーゲーム」をしたり、班で色々な活動や遊びをして過ごしました。木の中の水の流れる音が聴こえたときは、びっくりしました。

(2) 古代米作り(5年生)



【古代米の田植え】



【手押し除草機での除草】



【稲刈り・天日干し】



【千歯こきを使つての脱穀】



【くるみ味噌作り】



【お家の人と五平餅にして試食】

5年生は、総合的な学習の時間に古代米作りを行いました。苗を植えるときや手押し除草機を押すときは、泥で足が取られてとても大変でした。特に足の指の間を泥が通るときは、とても気持ち悪かったです。千歯こきを使つての脱穀では、手が引っ張られ、とても疲れました。今は、コンバインで稲刈りから脱穀まですぐにできてしまうのに、昔の人は大変だったことを知りました。古代米は、お家の人と一緒に餅つきをして、クルミ味噌で試食しました。このクルミは、稲刈りの後、このクルミ拾いやいなご捕りをしたときのものでした。クルミで味噌を作るのも大変でしたが、イナゴで作る佃煮も大変でした。特に、佃煮はイナゴの姿のままだったので、なかなか食べられない人もいました。最後は、美味しく食べました。

(3) 縄文土器作り(6年生)



【お家の人と一緒に縄文土器作り】



【校庭での野焼き】



【地域の方に土器をひろう】

村文化財センターの方の指導をいただきながらお家の人と一緒に縄文土器作りをしました。貝殻や縄で模様をつけ、縄文人のセンスの良さを知りました。校庭で野焼きをして、本物のようになりしました。縄文ムラまつりでは、縄文服を着て、自分の作った土器を地域の方に披露しました。

(4) その他の活動



【縄文太鼓の演奏】



【児童全員で縄文服作り】



【2年生のザリガニ釣り】

様々なイベントで演奏している縄文太鼓は、縄文人の情熱や自然の豊かさを表現しています。これからも伝統として引き継いでいきたいと思ひます。縄文服作りでは、児童全員が○や△、線等で楽しく作りしました。気持ちはすでに縄文人です。服を着て行う縄文ムラまつりが楽しみです。

3 まとめ(感想)

- 7000年もの昔から安中地区には人が住んでいて、昔から住みよいところだったことを知りました。
- 今年は、古代米が猪に食べられていて驚きました。貝塚からは、猪の骨も出ているので昔からいたことを知りました。
- 5・6年生は、同じ国の指定史跡である加曽利貝塚遺跡を見学に行ってきました。加曽利貝塚遺跡のように陸平貝塚ももっともっと有名な史跡になるといいなと思いました。
- 陸平貝塚遺跡は自然豊かな所にあり、この自然を大切にしながら、未来へ引き継いでいきたいと思いました。